

水戸市議会議員

佐藤あきお

夢のある元気な  
水戸市をめざして！国民民主党  
Democratic Party For the People

2023.02

No.8

市政だより

310News

皆さまの力強いご支援とご協力により、議会活動をさせていただいておりますことに心より感謝、御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響、ロシアのウクライナ侵攻による世界的な物価高騰は、未だに私たちを取り巻く社会生活や働く環境に大きく影響を及ぼし続けております。

さらには、全国的な課題である人口減少や少子高齢化に対しては、結婚から出産・育児・子育てを通じて切れ目のない支援や安全に安心して暮らせるための福祉施策の充実が必要であり、この水戸市においても取り組むべき課題が山積しております。

引き続き、水戸市のため、市民に寄り添い命と暮らしを守り、生活者や働くものの視点を大切にしながら、皆さまとともに考え、ともに歩む「夢のある元気な水戸市を目指して！」精一杯頑張っまいりますので、ご支援をお願い申し上げます。



## トピックス (topics)

## これまでの議会活動

## ◆子育て支援策の拡充を

Q 本市の出生数は年々減少し、少子化に歯止めがかからない状況である。以前より負担軽減が図られているものの、子育てへの不安が解消されるまでには至っていない。

更なる施策として、2歳児までの保育料やオムツ、給食費の無償化、児童手当の所得制限の撤廃など、子育て支援の拡充が必要である。見解を伺いたい。



A 令和4年4月にこども部を設置し、市民ニーズに対応した子ども・子育て支援施策や少子化対策の推進に努めている。

更なる保護者の経済的負担の軽減として、中学生の学校給食費無償化を令和5年度から実施する。

また、子育てのステージに応じた負担軽減を図るため、保育所利用者負担金の無償化、小中学校の入学準備金等、十分に精査した上で、順次実施する。

中学生給食費  
が無償化へ！

## ◆小児インフルエンザ予防接種の助成対象の拡充を

Q 現在、小児インフルエンザの予防接種の対象に、高校3年生だけが追加されている。大学受験や就職活動を控える若い世代が学校生活を安心安全に過ごせるよう、支援していくことが必要と考える。

そこで、今後は高校1、2年生を含めた全校生を助成対象にすることを提案する。見解を伺いたい。



A 現在、1歳から中学3年生及び高校3年生年齢相当の方を対象に、予防接種1回につき1500円の助成を実施している。各高校において全生徒を対象とすることがインフルエンザのまん延防止に効果的であり、高校生までの子ども全体を対象とすることで子育て世帯の経済的負担の軽減が図られること等の理由から、助成対象の追加は大変重要である。令和4年度からの制度拡充に向けて準備を進めていく。

全ての子どもが  
助成の対象に！

## ◆遠距離通学児童に対する通学費用の支援を

Q 通学に関して、学区内であっても特に低学年の児童にとっては徒歩通学が困難な地域や危険な箇所があることで、やむを得ず路線バス等で通学をしている児童がいる。子どもの発達段階や通学の安全確保、交通手段等を考慮した上で、遠距離通学の児童に費用補助などの支援をすべきであると考え、見解を伺いたい。

A 本市では、山根小学校の双葉台小学校への統合に伴いスクールバスを運行している。また、路線バス利用の児童は約300名である。経済的理由で就学が困難な児童の保護者に対し、就学支援制度による通学費の実費を支給している。

今後、全ての子どもが家庭の経済状況に左右されずに義務教育を円滑に受けられるよう、通学費の支給も含めた制度の充実を図っていく。

## ◆女性活躍の更なる推進を

Q 今後、少子高齢化に伴い、就労の質の改善と女性が活躍できる環境整備を、様々な角度から推進する必要があります。離職後に復帰しやすい支援や再就職を希望する女性のための就労支援に向けた取組を伺いたい。

A ハローワーク等と連携して復職に関する講座を実施し、就業に必要な情報提供を行うとともに、自分らしく、自由な働き方としての起業について、みと創業支援塾と連携し、女性起業家の育成に取組んでいる。また、待機児童の解消等にも積極的に取組、女性が働きやすい環境を整備していく。

## ◆カーボンニュートラル社会の実現に向けて

Q 車両のEV化は、大気汚染や騒音公害を抑えるだけでなく、災害時にはその電気で地域の人々の生活を守るなど、災害に強いまちづくりにも役立つ。公用車のEV化や、公園を含む公共施設へのEV充電設備の設置の推進、市民や事業者へのEVの普及促進等も必要である。見解を伺いたい。



公用車 (EV)

A 市では、「ゼロカーボンシティ」を令和2年7月に宣言した。市が率先して公用車への電気自動車等の導入を図り、市民や事業者の導入を促進し、次世代自動車のより一層の普及拡大を目指す。また、市民・事業者等との連携を図りながら、公共施設や観光施設等への充電設備の拡充に努める。

一般住宅においても、ブイ・トゥー・エイチ (V2H) の普及拡大に取り組み、災害などの非常事態にも備える。

## 議会有志メンバーとして、条例制定に向けた取り纏め役を担いました

## 『納豆の消費拡大に関する条例』

## 《7月10日は「納豆の日」》

令和4年6月定例会において7月10日を「納豆の日」とする内容などを盛り込んだ「納豆の消費拡大に関する条例」を制定しました。

この条例は市内産業の活性化及び市民の健康の増進に寄与することを目的とします。

(出典：  
みとの魅力発信課)

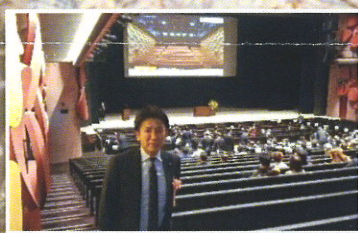


市内ショッピングモールにおいて条例制定のセレモニーを開催

## 『地産地消の推進に関する条例』

令和4年9月定例会において、「地産地消の推進に関する条例」を制定しました。

この条例は、地産地消の推進に関する、市の責務並びに生産者、事業者及び市民の役割を明らかにし、市内で生産された農産物等又はこれらを加工したものについて、将来にわたる安全で安心な供給体制を構築し、もって本市の産業の持続的な発展及び市民の健康的で豊かな生活の形成に寄与することを目的とします。



新市民会館竣工式



水戸城大手門開通式



消防第2分団員として出初式



会派で市長への要請活動



台風被災者支援募金

【PROFILE】 1975年(昭和50年)12月1日生まれ 三の丸在住 妻、愛犬(チワワ)

## 《経歴》

福島県立若松商業高等学校卒業  
東京電力株式会社入社  
連合茨城 副事務局長

## 《議会・主な役職》

総務環境委員会 副委員長  
水戸市環境審議会 委員  
大洗、鉾田、水戸環境組合 議員



【連絡先】 佐藤あきお後援会  
〒310-0061 水戸市北見町3-81  
TEL/FAX 029-228-3201  
<https://www.310akio.com/>

佐藤あきお